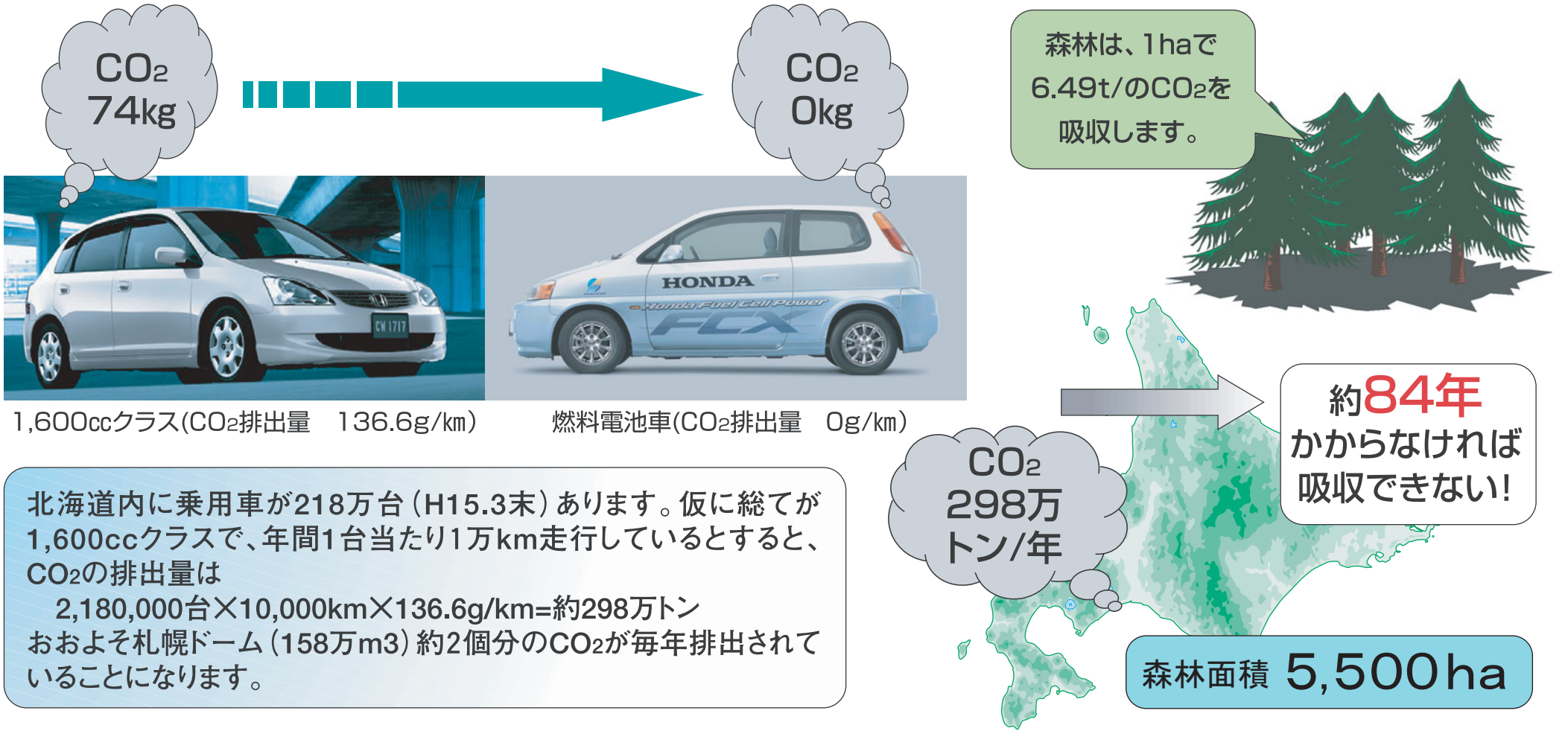


札幌～岩見沢～留萌～旭川～稚内間、542kmを 一般車両と燃料電池車で走行すると



地球温暖化の仕組み

地球温暖化は私たちの想像をはるかに超える影響を人間社会にもたらします。地球温暖化による年平均気温の1.5～5.8℃上昇は、海温を膨張させ、南極や北極など極地の氷を次第に溶かします。その結果、海水面がかなり上昇することになります。温暖化によって海面が上昇すること自体は間違いなく考えられており、2100年までには約15～95cm海面上昇すると予測されています。

砂浜の侵食は海面上昇の自然環境への影響の中で、最も直接的なものでしょう。海面が上昇すれば、砂浜は水没し汀線は後退します。さらに岸側から沖合に向かって砂れきが運ばれ、さらに大きな侵食が生じると考えられます。

この他に、低地帯の水没と氾濫、水面上にわずかに出ている島が水没すれば相当多くの領海を失うことになります。水域生態系への悪影響、植物の種の絶滅、動物種への影響など、数え上げられないほどの影響が考えられます。

地球温暖化の影響

二酸化炭素CO₂やメタン、フロンなどは、太陽からの熱を地球に封じ込める働きがあり「温室効果ガス」と呼ばれています。この「温室効果ガス」が全くなければ、地球の生物の棲みにくい極寒の世界になります。しかし、人類の文明が進むに連れて化石エネルギーを大量に使うようになり、二酸化炭素の排出量が増えたため、大気の温度が上昇してきました。これを「地球温暖化」といい、地球環境の保全に大きな問題となってきています。

増えすぎた二酸化炭素などが起こす「地球温暖化」

地球温暖化防止への取組

新エネルギーの取組によって、温暖化を防止する取組

- 太陽光や風力という無限にあるクリーンなエネルギーを使う。(再生可能エネルギー)
- 廃棄物発電や廃棄物熱利用など、今まで捨てていた物を資源やエネルギーとして再利用する。(リサイクル・エネルギー)
- 今まで使っていた石油や天然ガスなどのエネルギーを新しい技術やアイデアで効率よくクリーンに使用する。(従来型エネルギーの新しい利用形態)

CO₂の排出を減らす取組

- 産業部門・・・会社・工場・商店で省エネを進める。(省エネルギー)
- 家庭部門・・・家庭で省エネを進める。(省エネルギー)
- 交通部門・・・自動車の増加をできるだけおさえる。(省エネルギー)
- CO₂を吸収してくれる森林を守り、増やす。

